

熊 本 県

熊 本 県 退 職 校 長 会

結成 昭和46年12月5日

◇ 会の組織

顧問 4名(元会長)
会長 1名
副会長 3名
事務局 3名
理事 13名(各郡市及び高校部代表)
監事 3名

◇ 専門部の活動

教育振興部 各種団体との教育懇談会・教育の日
福利厚生部 功績調書・年金問題・介護保険の研究
調査研究部 会員の意識・健康問題・生活状況アンケート
広報活動部 年間3回の会報発行
組織強化部 会員名簿の作成・加入促進
専門部 以上の5部(部長・副部長・部員13名)

◇ 特色ある活動事例

新しい教育文化の創造が大切なことは言うまでもないことであるが、同時に先人が残した歴史的な教育遺産から何を学び、それをどう継承していくかということも極めて大事なことである。また児童生徒数の減少傾向が強まる中、学校の統廃合が進み、学校経営の内容、地域での学校の在り方が様変わりしている。そういった現状の問題点をきちんと把握し的確に対処していくためにも、学ぶ手がかりになるものを多く残していくことが重要だと考える。そういったことから本会では、発掘収集と記録を重点にとりくんでいる。

○ 新版 熊本教育の人的遺産100 熊本県退職校長会編 (247ページ)

本県において教育に携わった人の中からその業績によって県内全域から100名を抽出し、資料を集めたり、関係者に取材をしたりして各人の業績を2ページにまとめたものである。

「この表題から過ぎ去った時代を教育という営みを通して懐かしむ回顧録、資料集と考えられる人も居るかも知れない。私が拝読した後に考えさせられたこと、これは現代教育、人の生き方への『提言書』であるということである。『教育の人的遺産』は時代を超えて私たちに問いかけ、学びの力を与えてくれる。『教育力』の普遍性故に、新鮮で道標の役割をも担っている。」これは前熊本県知事の潮谷義子氏の書評の一部である。

○ 映像で綴る戦後熊本教育史 熊本市退職校長会 3巻

戦後の何もなかったところから始まった新制の学校の姿を映像でまとめたものである。兵舎跡を使った校舎、荒れた運動場、用具のない中で真剣に取り組む姿、あるいはモデルスクールなどテーマを決めて新しい教育に取り組んだ姿など当時携わった人のナレーションを入れてこれまでの歩みがまとめられている。

○ 熊本市教育遺産資料集 熊本市退職校長会編

関わりのある著名人の作品や遺作など学校に残されている貴重な遺産を紹介。

○ 資料で綴る玉名の教育130年の歩み 玉名郡市退職校長会編 232ページ

50校それぞれの学校の歩み重点的に取り組んできたことが写真などの資料を使って紹介されていて学校の歩みがよくわかるものになっている。

○ 上益城一学校教育史 上益城退職校長会編47ページ2巻

統合の多い地域にあってこれまでの学校の変遷がよくわかる内容になっている。

○ 宇城の学校教育の歩み 宇城退職校長会編 168ページ

100校を超えるそれぞれの学校の沿革史・児童生徒数の変遷・写真資料などで紹介されている。

○ 郷土の歴史を語る 学校写真集 人吉球磨議長会編 178ページ

50校それぞれの学校の校訓・沿革・校地校舎の写真で紹介されている。

